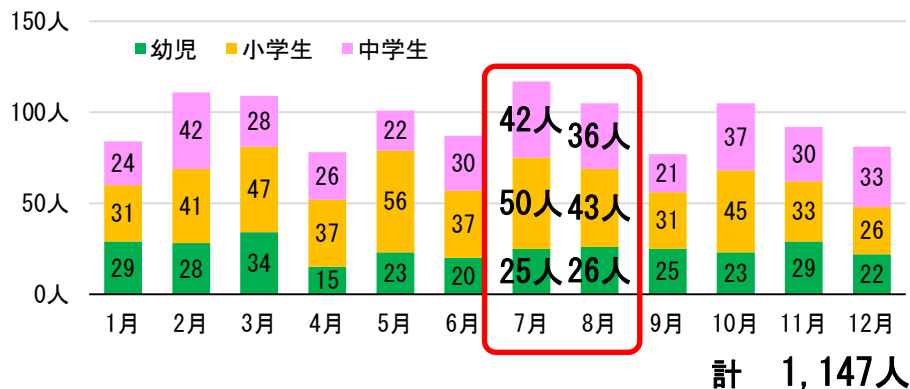


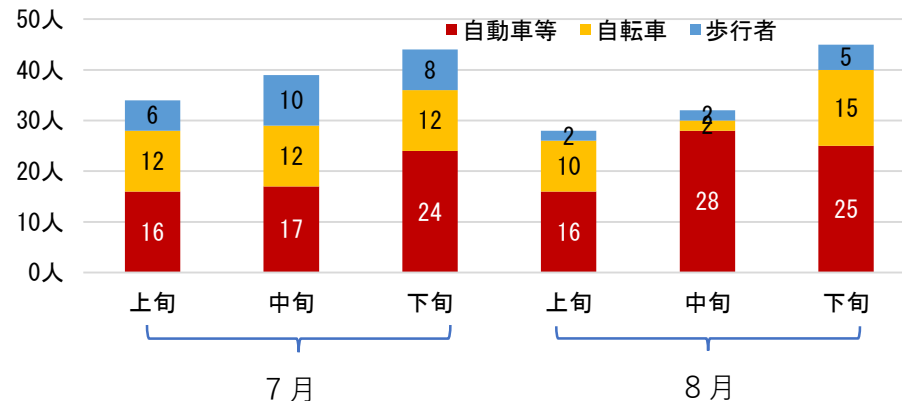
夏休みのこども（中学生以下）の交通事故被害

～ 過去5年間（R3～R7）の人身交通事故から～

《 月別・学齢別被害状況 》

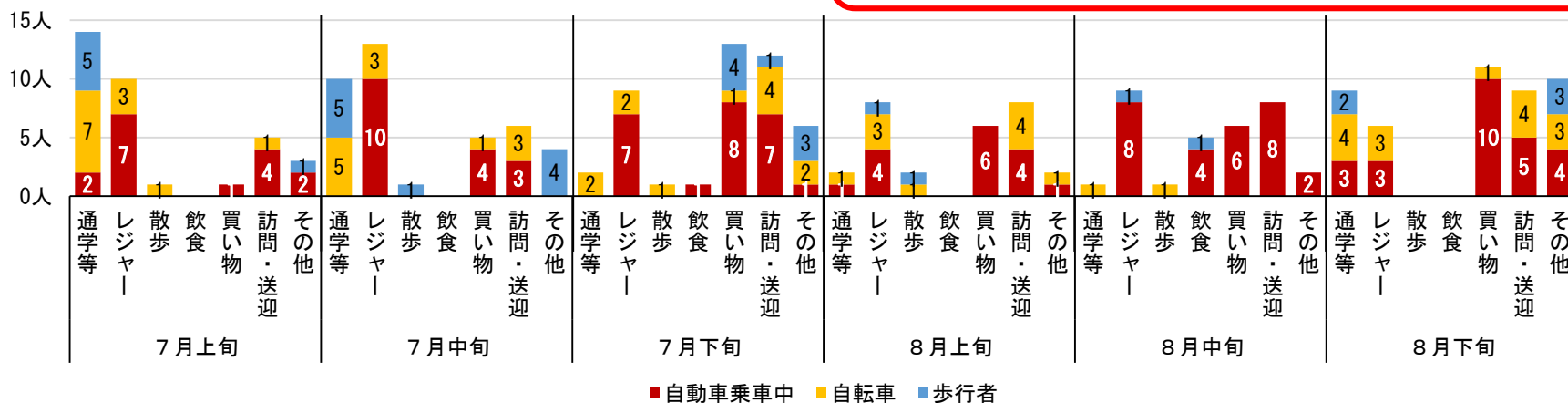


《 被害時の状態別 》



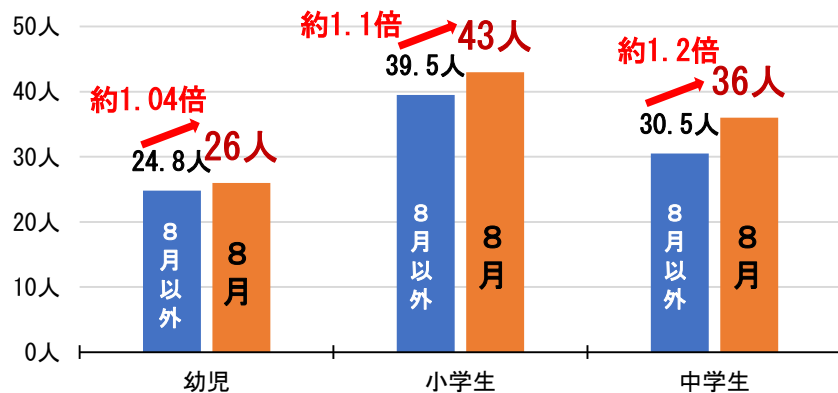
7月下旬から8月にかけて自動車乗車中の被害が増加し、8月中旬には自動車乗車中の被害が全被害の87.5%を占める。

《 7・8月の通行目的別被害状況 》



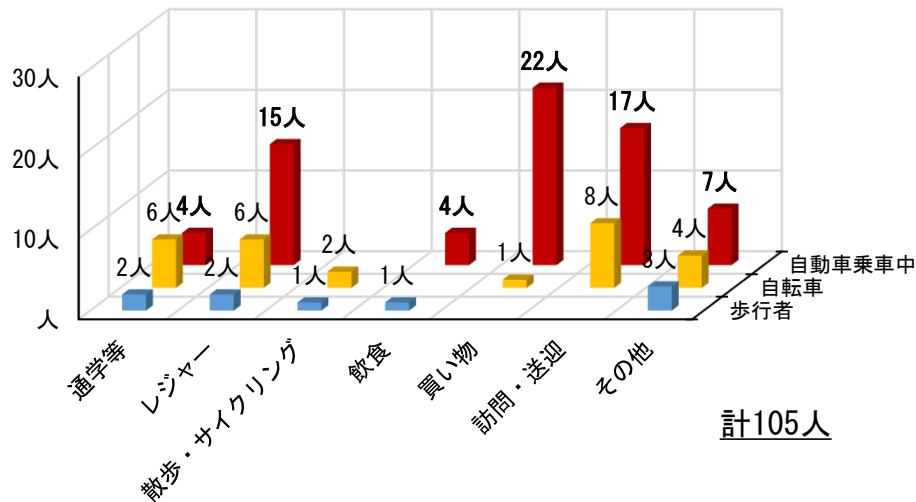
8月中旬はレジャーでの自動車乗車中被害が多く、下旬は買物や訪問での自動車乗車中被害が多い。
自転車乗用中の被害は8月上旬・下旬に友人宅などへの訪問が多く、歩行中の被害は7月下旬に買物が多い。

8月はこどもの被害が増加!!



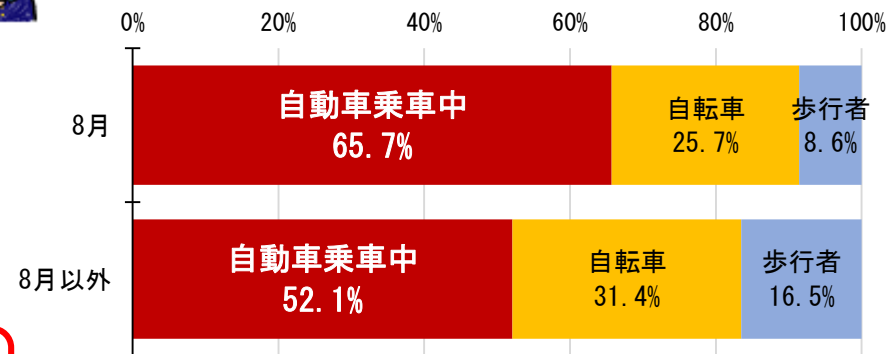
8月は、こどもの交通事故被害が多く、特に中学生の被害は8月以外の月の約1.2倍の発生となっています。

《 8月中における 当事者・通行目的別被害状況 》



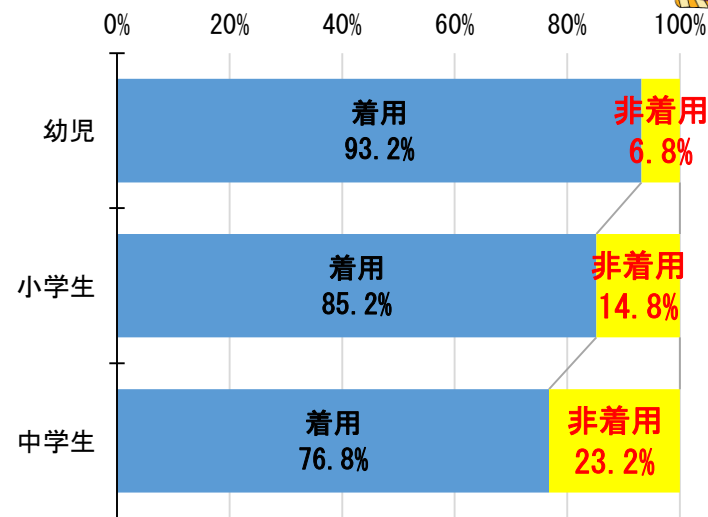
8月はそれ以外の月と比較して自動車乗車中の被害が多く、自動車乗車中被害を通行目的別にみると、買い物・訪問・レジャー時など家族で出かける時の被害が多く発生しています。年間を通じて年齢が高くなるほど、シートベルト非着用者の割合が高くなるため、必ずシートベルトを着用しましょう。

《被害時の状態別》

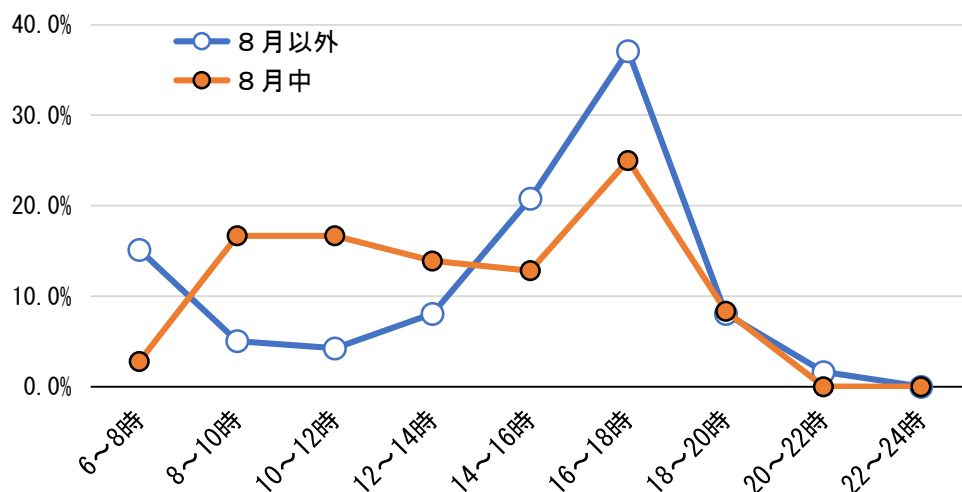


《シートベルト着用状況》

年間の人身事故で集計



《 歩行中・自転車乗用中の時間帯別被害 》

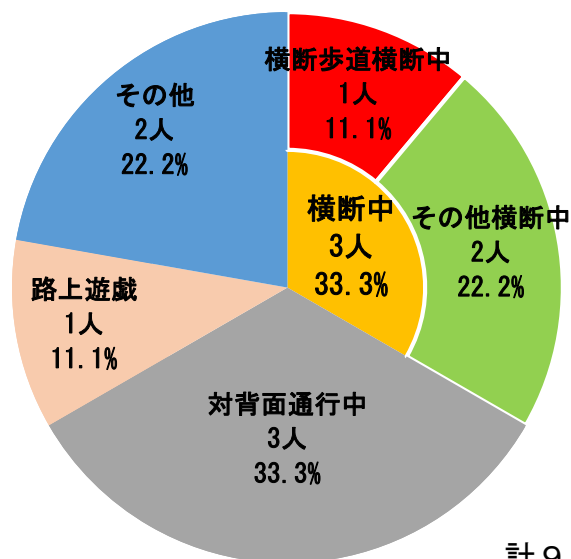


歩行者、自転車の事故発生時間帯を見ると、年間を通じて16・17時台が多いが、8月は8～13時台に多く発生しています。

また、8月の歩行者被害のうち、道路横断中の事故が全歩行者被害の3割強を占め、横断歩道での事故も発生しています。

自転車は交差点での事故が8割強を占め、特に信号機の無い交差点での事故が多く発生しています。

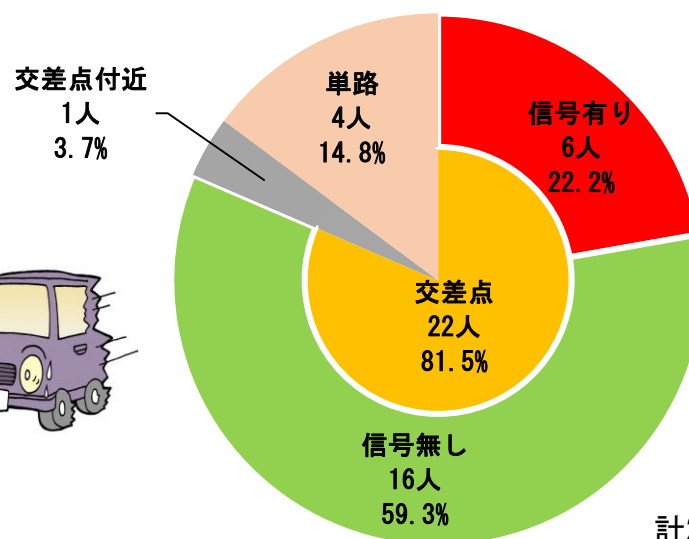
《 8月中の歩行中被害 》



計9人



《 8月中の自転車乗用中被害 》



計27人





児童・生徒の皆さんへ

歩行者の 皆さんへ

- ・道路を横断する際は、一旦立ち止まり、左右の安全を確認しましょう。
- ・手をあげて（ハンドサイン）、運転者の目を見て（アイコンタクト）確認するなど、運転者に対して横断する意思を伝えましょう。
- ・車が確実に止まったことを確認してから横断を開始しましょう。
- ・信号機のある場所では、信号に従って横断しましょう。
信号機が青色にかわってもすぐに横断せず、一回止まって車が来ていないか確認し、右左折の車にも気を付けて横断を開始しましょう。
- ・早朝や夕暮れ時・夜間は反射材を着用しましょう。



自転車の 皆さんへ

- ・信号に従って通行しましょう。
- ・一時停止場所では、必ず一時停止をして確実に安全確認をしましょう。
- ・見通しの悪い交差点では、スピードを落とし、安全を十分に確かめて通行しましょう。
- ・道路を横断する際は左右・後方の安全を確認して横断しましょう。
- ・自転車を利用する際は被害軽減のため、自転車乗車用ヘルメットを着用しましょう。



ドライバーの皆さんへ

- ・夏休みの時期は、交通環境が大きく変化します。あらゆる時間帯に、子どもとの事故リスクがあることを認識して下さい。
- ・横断歩道に近づいたら、速度を落とし、歩行者の有無を確認し、歩行者・自転車がいる場合は、手前で停止して下さい。
- ・住宅街等の生活道路は、特に注意して運転して下さい。
- ・相手が「出てこないだろう」「止まるだろう」は危険です。「出てくるかもしれない」などの「かもしれない運転」を心がけ、安全運転をお願いします。

